

(株) 中曽根造園



「節分」

2月2日

2021年

2月

今年の節分は124年ぶりに2月2日になるそうです。2月3日以外の日になるのは37年ぶり。節分は立春の前日と決まっています。つまり、立春がずれると節分も連動するのです。一年は365日とされますが、太陽年は365.2422日。つまり毎年5.8128時間ずつ遅れていきます。それを調整するためのうるう年なのですが、そう上手くぴったりには調整できず、今度は少し早まってしまうのです。

2月の誕生木

2月18日 流金花(リュウキンカ)

必ず来る幸福

湿原や湿地に自生します。流れに沿って群生し、金色に明るく咲く花の様子がそのまま名前になっています。



2月10日

沈丁花 (ジンチョウゲ)

栄光・勝利

芳香があります。実は雌雄異株で有毒植物です。



2月15日

三又 (ミツマタ)

強靱・壮健

白の綿毛に覆われたボンボンのようなかわいい花です。甘い芳香があります。



2月23日

辛夷(コブシ)

友情・歓迎



早春に花咲きます。かつて、開花を田植えの目安にしていたことから『田打桜』の別名があります。



みどりのマメ知識①

名前を奪われたまつぼっくり?!



日本では『まつぼっくり』『松かさ』と呼ばれていますが、英語では
"pineapple"
マツの果実になります。
パインアップル・・・そう、パイナップル。

実は、外見がまつぼっくりに似ていたから、パイナップルと呼ばれるようになり、それが定着してしまいました。
和名は菠蘿(ハラ)、鳳梨(ほうり)



※答えは下段にあります



香りのある花が咲く木偏

樹木の名前

- A 定家葛
- B 紫丁香花
- C 梔子
- D 唐種招霊
- E 沈丁花
- F 金木犀

読み方

- あ じんちょうげ
- い きんもくせい
- う ていかかずら
- え むらさきはしどい (ライラック)
- お からたねおがたま
- か くちなし

針葉樹と広葉樹の違い

みどりのマメ知識②

針葉樹の葉は鋭くとがった形状
モミ、ヒバ、マツなど

- ・ほとんどが常緑
- ・誕生したのは約三億年前
- ・約500種類
- ・寒い地域に分布
- ・仮導管と呼ばれる管で水を吸い上げる。効率は悪いが、細胞に穴が多く空いているので水を移して吸い上げていける。→凍結しづらい
- ・葉の表面積が狭いので、水分蒸散が少ない。→凍結しづらい
- ・幹はまっすぐ育つ、樹形は円錐形が多い。
- ・成長が早いものが多い
- ・木材としては、まっすぐだが軽いものが多い

広葉樹は平たい、丸い、モミジ型など
カシ、サクラ、モミジなど

- ・常緑樹と落葉樹がある
- ・誕生したのは約一億五千年前
- ・約20万種類
- ・温暖な地域に分布
- ・水を大量に吸い上げることが出来る導管を持つ (凍結すると気泡が出来て水が吸えなくなる)
- ・葉の表面積が広いので光合成に適している。
- ・左右へ枝を張りながら成長する。
- ・ゆっくり育つものが多い
- ・木材としては重いものが多い

広葉樹は、進化の過程で針葉樹から枝分かれして誕生したと言われていています。針葉樹の方が先輩なんですね。